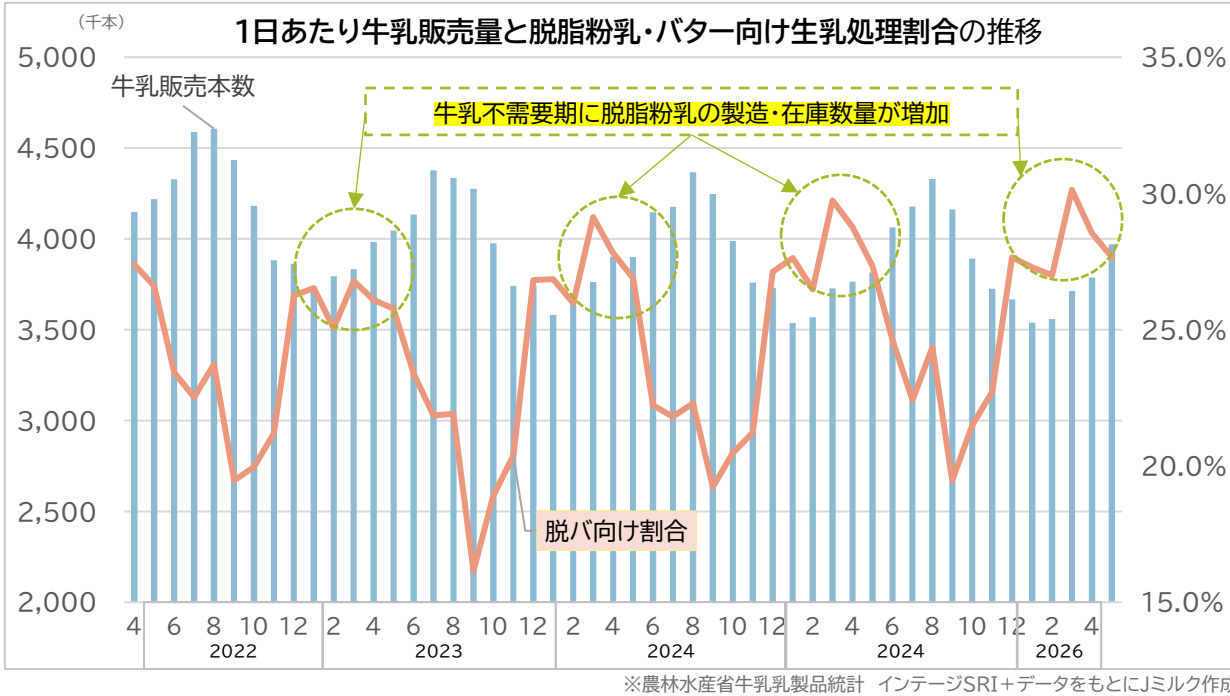


すべての乳業者の皆様へ

「需給変動対策特別事業」へのご参画と 「緊急対策金」へのご協力をお願い

 **牛乳消費量の減少が脱脂粉乳在庫の増加につながっています**



このままでは、生産基盤や飲用牛乳市場に悪影響が及び、我が国酪農乳業の持続可能な発展を阻害する可能性があります。

この危機的な状況を乗り越えるには、全国すべての酪農乳業関係者の 協調した次の対策が必要です！

 **「酪農乳業需給変動対策特別事業」と「緊急対策金」にご協力を！**
(生産者も同額を負担する「1対1」の協調体制)

項目	内容
拠出金単価	現行の「需給変動対策金」15銭 新たな「緊急対策金」15銭 計 30銭/kg (緊急対策金の対象期間は2026年10月～28年3月まで)
緊急対策の実施期間	2026年10月 ～ 2028年3月 (期間限定の集中対策) ※2028年度以降の扱いについては、2026年度下半期から検討を開始します。
用途と目標	脱脂粉乳の新規需要創出(飼料向け、調製品置換え、輸出向け)の取り組みを拡充し、毎年度末の脱脂粉乳在庫を「8万トン未満」に抑制します。 (併せて、「入口(生産)」「出口(需要)」対策も進めていきます。)



乳業者にとって2つの大きなメリットがあります



「飲用牛乳市場」の安定

全国の関係者による生乳の需給調整機能(余剰時の適切な乳製品加工等)が維持され、牛乳の価格崩壊を防ぐなど、健全な取引環境の確保が図られます。



生乳調達リスクの回避

全国の酪農生産基盤の維持を通じて生乳の安定確保が図られ、需要期における牛乳販売上のチャンスロス回避につながります。



なぜ今、緊急的な対応が必要なのか？

このままだと…

①

・脱脂粉乳の在庫が増加

②

・「乳価引下げ」や「減産」を求める圧力が上昇

③

・酪農家の生産意欲や収益性が低下し、減産方向へ

④

・「生乳の安定調達」が困難となり、乳業事業が停滞

最終的に**生乳を調達して製品を製造・販売する乳業者の皆様が最も深刻な影響**を受ける可能性があります



共に「日本の牛乳」を守り抜きましょう！

- ・現在、多くの生産者・乳業者の皆様にご賛同いただき、基金に拠出をいただいております。
- ・しかし、誰もが安心して経営を継続できる強固なセーフティーネットを構築するためには、**未だ本事業に同意されていない乳業者のご参画**、そして**追加の「緊急対策金」へのご協力**が不可欠です。
- ・皆様のご決断が、持続可能な酪農乳業産業の確保につながります。本事業の趣旨にご賛同いただき、ご参画いただきますよう、心よりお願い申し上げます。

酪農乳業需給変動対策基金への協力事業者や必要な手続きは、Jミルクウェブサイト公表しております。
<https://www.j-milk.jp/gyokai/safety-net.html>

お問い合わせ先：(一社)Jミルク 生産流通グループ TEL 03-5577-7493